

世界トップクラスの医学系リサーチリーダー育成コースにチャレンジしよう！

大学院生募集！

神戸大学 グローバルCOEプログラム

次世代シグナル伝達医学の教育研究国際拠点
— 基礎・臨床医学実質融合によるClinician-Scientistの育成 —

Global Center of Excellence for Education and Research on Signal Transduction Medicine in the Coming Generation
— Bringing up clinician-scientists in the alliance between basic and clinical medicine —

神戸大学大学院医学研究科による医学系グローバルCOEプログラム
リサーチリーダー育成コース大学院生を募集しています。

基礎・臨床医学融合による分野横断的・統合的大学院教育を実施し、
世界トップレベルのclinician-scientistを育成します。 <http://gcoe.med.kobe-u.ac.jp/>

・**応募資格**：神戸大学大学院医学研究科博士課程1年次あるいは2年次学生

注) 医学医療国際交流特別コースは出願できません。事前に事務まで確認ください。

また、日本学術振興会との併願は可能ですが、採択時には本コースを辞退していただきます。

・**募集人数**：5名(予定)

・**応募方法**：英文リサーチ・プロポーザルの提出

(WORD&PDFで作成しEメールに添付して提出)

・**応募締切**：平成24年4月16日(月)正午

※平成24年4月19日(木)～4月23日(月)の間に、英語による
厳正な審査会を予定しています。

・**問い合わせ先**：教育・研究コーディネーター 吉田 優

(Eメール：myoshida@med.kobe-u.ac.jp)

・**提出先**：神戸大学医学部研究支援課研究支援係

シグナル伝達医学グローバルCOE事務局

(Eメール：gcoestm@med.kobe-u.ac.jp)

H24年度は、以下の支援・教育・海外経験の機会が与えられます。*1

- ・給与(約120万円) * 社会人院生は、支給できない場合があります。
- ・研究助成金(100万円)
- ・海外国際学会の参加費・交通費・宿泊費などの援助
- ・短期留学・共同研究・研究打合せ・研究発表などの活動支援
- ・グローバルCOE拠点メンバー3名による研究指導
- ・大学院特別講義(先端医学シリーズなど)や
ネイティブスピーカーによる英会話指導



*1 本プログラム「次世代シグナル伝達医学の教育研究国際拠点」は
平成25年3月末に終了のため、その後の支援等は、採択時と異なる可能性があります。

英文リサーチ・プロポーザルの作成要領

A4用紙使用、上下左右に2.5 cmの余白を取り、Microsoft Wordファイル、single space、Times New Roman（11ポイント）で作成すること。

以下の必要事項が記入されていれば、書式は自由です。

1ページ目：**以下の順番で記入して下さい。**

- ① Training Course for Raising Research Leaders in Clinician-Scientist（コース名）
- ② Date of submission：（提出日）
- ③ Full name of the applicant (age)：（申請者の氏名と提出時年齢）
- ④ School, Program, Department (Division) and Grade：
（所属研究科・専攻・講座（分野）名・学年）
- ⑤ Name of the mentor (supervisor)：（指導教員名）
- ⑥ Tel, Fax and E-mail address
- ⑦ Research speciality：（専門分野）
- ⑧ Title (less than 100 letters including spaces, should not contain non-standard acronyms or abbreviations)：（研究課題名）
- ⑨ Summary (less than 200 words)
- ⑩ School history (starting from high school graduation)：（学歴（高等学校卒業以降）

2ページ目：Write on the following items in English.

- (1) 研究の目的、期間内に何をどこまで明らかにしようとするのか
- (2) 当該分野におけるこの研究（計画）の特色・独創性・意義
- (3) 研究の背景（日本や海外での研究の状況を含む。参考文献を記載すること）、着想に至った経緯について分かりやすく簡潔に記入すること。（A4, 1ページ以内）

3ページ目：Write on the following items in English.

- (1) 研究実施計画
- (2) 研究方法については、平成24年度と平成25年度以降に分けて具体的に簡潔に記入すること。共同研究者がいる場合は、各人の役割分担を明示すること。（A4, 1ページ以内）